

## 動物愛護について

一年 山下舞子

「動物愛護って何？」

これが動物愛護と聞いて一番はじめに思ったことです。今まで、なんとなく耳にしたことがあったけれど、実際どのようなことをすることなのか、私たちとどのような関わりがあるのかなどを考えたことはありませんでした。

そこで、動物愛護について、自分なりにインターネットでいろいろ調べてみました。

「動物愛護：動物の命の尊厳を守り、不必要に殺したり苦しめたりすることのないように扱い、その生態や習性を理解して適切な管理をすること」

私のおばあちゃんの家には、オスの子犬がいます。ある日、子犬の首に何かか巻いてあったので何があったのか聞いてみると、去勢の手術をした後なので、傷口をなめないようにする処置をしているとのことでした。

去勢とは、動物の雄雌の生殖に必要な部位を切除し、種として生殖不能な状態にすることです。よくよく考えると、犬の意思の確認や同意を得たわけでもないのに、人間の都合だけでこんなに小さいいう意見もあるのだそうです。一方、一部では去勢を動物の尊厳を踏みにじる行為だとい

ちから手術をされてしまうなんて、ちょっとかわいそうだと思ってしまいました。しかし、去勢手術をしなければそのうちに子どもがどんどん産まれて増えてしまい、お世話やお手入れがきちんと行き届かなくなる可能性も出てきてしまいます。一方、一部では去勢を動物の尊厳を踏みにじる行為だという意見もあるのだそうです。

私は今までペットを飼ったことがありませんが、いつもペットを飼っている人を見て、いいなうらやましいなと思っていました。ペットを飼うと言えば、餌やりや散歩などの毎日のお世話のことしか頭にありませんでしたが、去勢などのことをきちんと考えペットの命に責任を持つことも飼い主に与えられた使命なんだとわかりました。

犬や猫をはじめとしてペットを飼っている人が増えていますが、飼っている動物に十分な栄養を与えなかったり、ケガや病気などの手当てをせずに放置したり、飼い主が成長した動物の面倒を見きれなくなり最終的に捨ててしまう、などといった人間による無責任で身勝手な行為や、劣悪な飼育環境で繁殖をさせるブリーダーや悪質な業者による販売なども社会問題となっています。他にも、アクセサリー感覚やSNSでの映え重視でペットを飼う人もいるのだそうです。でも、ペットは私たち人間と同じ命を持った動物です。決して特別なことではなく、動物の命のことを大切に考え、責任を持ってお世話をするだけでも、動物愛護につながるのではないかと思いました。